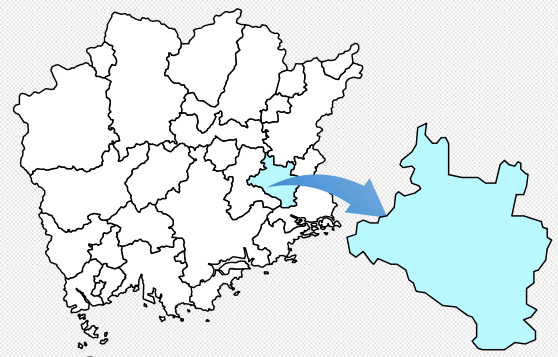


わ け ち ょ う 和 気 町



○ 和気町の教育

共に生きる
心豊かで
たくましい
人づくり



種類の多さ日本一の「藤公園」

町内には、認定こども園（にこにこ園）が3園、小学校が3校、中学校が2校あります。次代を担う子どもたちの豊かな心や主体的に学ぶ意欲を伸ばし、**未来社会をたくましく、しなやかに生きる力を育むため**、個別最適な学び、協働的な学びが展開できるよう、ICTを軸とした学習環境や質の高い教育環境の整備を進めています。また、英語教育や人権教育、探究的な学び、就学前教育と義務教育の接続にも力を入れており、園小中が連携した教育を目指しています。

学校とともに、働き方改革を強力に推進中!!

【教職員の勤務時間を意識した学校運営】

- ・電話対応時間を設定
(小学校;8:15~16:45 中学校;8:15~17:30)
※令和7年4月から中学校の対応時間を17:00までに変更予定
- ・小学校では児童の登校時刻を「午前8時頃」に設定
- ・中学校では部活動の朝練廃止。最終下校は通年17:00に

【外部人材の活用、地域と連携した児童生徒支援】

- ・町費で教育支援員(スクールサポーター)を計19人配置
- ・学校司書、教師業務アシスタント、用務員を各校に配置
- ・大学と連携した体育活動の実施
(小学校陸上教室、新体カテスト実施補助、中学校トレーニング・クリニック) 等

【校務のDX化に向けた環境整備】

- ・クラウドを活用した情報共有 ・ 服務関係帳簿の電子化
- ・連絡帳アプリの全校導入 ・ 生成AIの校務での活用促進等

○ 英語教育の充実

町内全校にALTが常駐し、英語等の授業だけでなく、日常的に英語や外国の文化に触れる機会があります。小5からは、豪州の学校と遠隔交流授業を行うほか、ALTと英語のみでコミュニケーションを行う「ALT交流会」を行っています。児童生徒の異文化への興味・関心が高まり、英語を使って表現する力も向上しています。

オーストラリアとの遠隔交流授業



○ ICTを使った学びの充実

和気町の児童生徒は、授業だけでなく、学校生活の多くの場面でタブレット端末(Chromebook)を効果的に活用し、個別最適な学び、他者と協働した学びを行っています。



共同編集機能を利用した委員会新聞の作成

○ 先輩教員からのメッセージ

和気町は、岡山県の南東部に位置する自然豊かな町です。町内には藤公園や、特別天然記念物であるタンチョウの人工飼育を行っている岡山県自然保護センターがあります。そんな豊かな自然の中で育った子どもたちは、地域の方々に温かく見守られて伸び伸びと学習したり、遊んだりしています。和気町は、「人権尊重のまちづくり」を進めています。私の勤める和気小学校でも、**人権教育を基盤とした取組**を行っています。私は1年間、学校内外で人権について学ぶ機会に恵まれました。教員は、**未来を担う子どもの成長を支える重要な存在**であると同時に、様々な場で学び、子どもたちと関わる中で、**自分自身も成長できる素敵な仕事**です。みなさんも、ぜひ、「人権尊重の町」和気町で一緒に働きましょう。



和気小学校
教諭 山本晃大



わけまるくん フジコちゃん タンタン
和気町マスコットキャラクター

【基礎データ】

人口：12,705人
学校数・児童生徒数：
小学校 3校・507人
中学校 2校・257人
(令和6年5月時点)

【相談窓口】

和気町教育委員会学校教育課
〒709-0511 和気郡和気町矢田305

TEL: **0869-88-1115**

<https://www.town.wake.lg.jp/kurashiKosodate/>

